

# 第9回

# みえ介護技術 コンテスト

テーマ：介護過程の展開～自己実現を目指して～

募集期間：4月1日～7月31日

## 予選日程

中勢地区：9月1日（日）  
南勢地区：9月15日（日）  
北勢地区：9月21日（土）

参加費  
無料

## 決勝日程

10月13日（日）  
津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール

三重県内で活躍する介護職員が「介護の仕事」のやりがいを伝え、介護技術を競うことにより、介護の魅力発信・質の向上をさせることを目指します。

申込はこちら



誰でも参加OK！

豪華賞品あり

## 事例：津 みえさん（仮名）90歳 女性

### <入所前の生活と入所理由>

津みえさんは、A特別養護老人ホームに入所している90歳の女性、要介護度は3で、認知症があります。施設入所前は長男（70歳）と二人暮らしでした。現在長男は持病が悪化、他に家族はなく、在宅で一人暮らしをしています。津さんは3年前に転倒して骨折し、このときから下肢筋力の低下が著しく、日常生活の継続が困難となり介護が必要になりました。長男は持病が悪化し、母親の介護ができないため入所となりました。

入所前の自宅での生活は、編み物や生け花などが好きで趣味としていました。その他には新聞を読むのも好きで、特に地域のニュースが好きだったそうです。また、相撲のテレビ観戦も好きで、相撲の時期になると楽しみにしていたとのこと。1日の生活は、朝の家事を終えると、庭の花に水やりをして咲いている花を眺め、ティータイムをたっぷりとり、残った時間で編み物や生け花、読書をして1日を過ごしていたとのこと。長年主婦として家事を行い、長男の面倒をみてきたことが自分の誇りのようです。体型は、身長148cm、体重45kgです。

### <入所後の生活の様子>

入所して6ヶ月が経過しました。入所後しばらくは居室に閉じこもりがちでしたが、1ヶ月もすると、談話コーナーで他の入所者と話している時もあり、「皆との会話は楽しい」と言っています。ニュースや歌謡番組、相撲中継が好きで、談話室の決まった場所でテレビを見ていますが、本人は「テレビが好きなわけではないが、何もすることがないから」と話しています。最近、夕方になると「そろそろ帰ります」と言い、車椅子から立ち上がろうとしたり、玄関を探ることが多くなりました。現在は職員の声かけにより落ち着きます。就寝時間に夜寝つけないときは、睡眠剤を服用しています。睡眠剤を服用した翌朝は、離床時の車椅子への移乗は全介助で行っています。

普段はベッドから車いすへの移乗動作は見守りが必要です。職員がベッドサイドに車椅子を配置すると、ゆっくりだが自分で乗り移ろうとしますが、つまずき転倒しそうになることがあります。施設内の廊下は自走可能です。車椅子への移乗時やトイレでの便座への移乗時等の際、座位からの立ち上がり時に両膝の痛みが増強することがあるようです。「この膝が痛いよね」と両膝をさすり、立ち上がりに時間がかかり途中よろけることがあります。

トイレ内での着脱に時間がかかり、下着を濡らすことがあるため、紙パンツを使用しています。衣類は職員が収納した後に自分で入れ直しをしています。2週間ほど前、職員がベッドのシーツ交換をする際、ベッド上の掛布団の下から汚れた紙パンツが出てきたことがありました。

上着は自分で着脱できますが、ズボンや靴下などは普段は介助で着替えています。介護職員の介助のもと、好きな衣服を選んで着ています。毎朝、職員の見守りにて鏡の前で洗顔と整髪をし、身だしなみはいつもきちんとしており、毎日着替えを行います。

食事の摂取量は1日の平均が3分の1程度と少なく（施設の食事は1,500cal/日）、漬け物、ふりかけなどが好きだと言っています。時々、お茶や汁物などでむせることがあります。長男は、2、3か月に1回程面会に来所していますが、一人暮らしの長男のことが気にかかるようです。